

2022年1月21日

市川市長 村越祐民 様

日本共産党市川浦安地区委員会

日本共産党市川市議団

オミクロン株の市中感染を含む猛烈な感染拡大に対し、感染拡大防止の位置付けを明確にした無料検査の実施を求める緊急要請

コロナ感染が猛烈な勢いで拡大し、第6波は、第5波の感染者数を超えている地域がいくつも出ています。市川市でも、連日100人を超し、不安が広がっています。3回目のワクチン接種も、2ヶ月前倒しということですが、まだまだです。

千葉県は、昨年12月28日より、「ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業」に加え、「感染拡大傾向時の一般検査事業」を開始しました。共産党も繰り返し求めていた無症状者を対象とした無料検査の実施は一定の前進です。しかし、この「一般検査事業」の期間は「ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業」よりも2ヶ月も短い1月31日までとなっています。オミクロン株の市中感染をはじめ、猛烈な勢いで感染が拡大する中で、事業が1月末までということはありません。本八幡駅北口の「PCR検査センター」は、毎日、長蛇の列となっています。市民からは、「自分が検査の対象になるのか、どこで検査ができるのか、分からない」という声が聞かれます。市内では、ウエルシアで行われていますが、知らない市民が大半です。周知徹底を急がなければ、「無料で検査できる」ことすら知らされないまま、期間だけは過ぎ去るという事態になりかねません。柏市では、市の負担で、3月末まで、「無料検査」の実施期間を延ばしました。

感染拡大の防止を目的とした無料検査の実施を求め、市に緊急に要請するものです。

- 1 千葉県による無料PCR検査の期間が1月末までなので、更なる延長と受けたい人が受けられる数を確保することを千葉県に求めること。市独自でも、「無料検査」を3月末まで延長すること。
- 2 エssenシャルワーカーへのワクチン接種を一日も早く行うこと。また、定期的検査を実施すること。
- 3 感染者の自宅療養、ホテル療養をしている方にも、保健所体制を強化し対応をしっかりとすること。

以上